

予算特別委員会速記録第四号

2016年3月9日

出席議員 十一名

委員長	早坂 義弘君	中山ひろゆき君	大場やすのぶ君
副委員長	上野 和彦君	斉藤やすひろ君	石川 良一君
副委員長	植木こうじ君	松田やすまさ君	中村ひろし君
副委員長	秋田 一郎君	舟坂ちかお君	野上 純子君
理事	三宅 正彦君	島崎 義司君	中山 信行君
理事	小宮あんり君	鈴木 錦治君	清水 孝治君
理事	田中たけし君	田中 朝子君	和泉 武彦君
理事	斉藤あつし君	上田 令子君	畔上三和子君
理事	橋 正剛君	西沢けいた君	中屋 文孝君
理事	清水ひで子君	田中 健君	曾根はじめ君
	加藤 雅之君	大松あきら君	大山とも子君
	菅野 弘一君	まつば多美子君	欠席委員 なし
	川松真一朗君	木村 基成君	
	小松 久子君	北久保真道君	

出席説明員

	知事	舛添 要一君	病院経営本部長	真田 正義君
	副知事	安藤 立美君	産業労働局長	山本 隆君
	副知事	秋山 俊行君	中央卸売市場長	岸本 良一君
	副知事	前田 信弘君	建設局長	佐野 克彦君
	教育長	中井 敬三君	港湾局長	武市 敬君
	東京都技監都市整備局長兼務	安井 順一君	会計管理局長	塚本 直之君
	政策企画局長	川澄 俊文君	消防総監	高橋 淳君
	青少年・治安対策本部長	廣田 耕一君	交通局長	塩見 清仁君
	総務局長	中西 充君	水道局長	醍醐 勇司君
	財務局長	長谷川 明君	下水道局長	石原 清次君
	主税局長	小林 清君	選挙管理委員会事務局長	安藤 弘志君
	生活文化局長	多羅尾光睦君	人事委員会事務局長	藤田 裕司君
	オリンピック・パラリンピック準備局長	中嶋 正宏君	監査事務局長	猪熊 純子君
	環境局長	遠藤 雅彦君	労働委員会事務局長	櫻井 務君
	福祉保健局長	梶原 洋君	収用委員会事務局長	目黒 克昭君

本日の会議に付した事件

付託議案の審査(総括質疑)

- ・第一号議案 平成二十八年度東京都一般会計予算
- ・第二号議案 平成二十八年度東京都特別区財政調整会計予算
- ・第三号議案 平成二十八年度東京都地方消費税清算再建資金会計予算
- ・第四号議案 平成二十八年度東京都小笠原諸島生活再建資金会計予算
- ・第五号議案 平成二十八年度東京都母子父子福祉貸付資金会計予算
- ・第六号議案 平成二十八年度東京都心身障害者扶養年金会計予算
- ・第七号議案 平成二十八年度東京都中小企業設備導入等資金会計予算
- ・第八号議案 平成二十八年度東京都林業・木材産業改善資金助成会計予算
- ・第九号議案 平成二十八年度東京都沿岸漁業改善資金助成会計予算
- ・第十号議案 平成二十八年度東京都と場合会計予算
- ・第十一号議案 平成二十八年度東京都営住宅等事業会計予算
- ・第十二号議案 平成二十八年度東京都営住宅等保証金会計予算
- ・第十三号議案 平成二十八年度東京都都市開発資金会計予算
- ・第十四号議案 平成二十八年度東京都用地会計予算
- ・第十五号議案 平成二十八年度東京都公債費会計予算
- ・第十六号議案 平成二十八年度東京都臨海都市基盤整備事業会計予算
- ・第十七号議案 平成二十八年度東京都病院会計予算
- ・第十八号議案 平成二十八年度東京都中央卸売市場会計予算
- ・第十九号議案 平成二十八年度東京都都市再開発事業会計予算
- ・第二十号議案 平成二十八年度東京都臨海地域開発事業会計予算
- ・第二十一号議案 平成二十八年度東京都港湾事業会計予算
- ・第二十二号議案 平成二十八年度東京都交通事業会計予算
- ・第二十三号議案 平成二十八年度東京都高速電車事業会計予算
- ・第二十四号議案 平成二十八年度東京都電気事業会計予算
- ・第二十五号議案 平成二十八年度東京都水道事業会計予算
- ・第二十六号議案 平成二十八年度東京都工業用水道事業会計予算
- ・第二十七号議案 平成二十八年度東京都下水道事業会計予算

石川委員

まず、グランドデザインについてお伺いいたします。

現在、二〇四〇年代の東京のグランドデザインを描くための議論が始まったところであります。昨年
から開催されております検討委員会では、新進気鋭の有識者を招き、非常に刺激的な議論が交わされて
いると聞いております。

私は、きょうのこの予算特別委員会の質問に当たって、二月十八日の第四回検討委員会を大いに注目
していたわけでありませ。直接この目と耳でぜひ確認をしたいということで委員会に足を運んだわけであ
りますけれども、傍聴はできないということでありました。

こうした会議の進捗は、あらゆるチャンネルを通じて都民に知ってもらうことにより、都民からの共
感や理解にもつながっていくのではないかと思うわけでありませ。

この東京のグランドデザイン検討委員会の傍聴のあり方について、まずお伺いをいたします。

川澄政策企画局長 大局的な見地から、二〇四〇年代の東京のあるべき将来の姿を描くため、現在、知事を初めと
する庁内メンバーから成る東京のグランドデザイン検討委員会を設置し、検討を進めているところでござ
います。

これまで委員会では、幅広い分野の有識者や専門家を招いて議論を展開しており、先進的なアイデア
もいただいているところでございます。

この委員会では、有識者、専門家に自由闊達なご提言や意見交換を行っていただくため、傍聴席は設
けておりませませんが、委員会での有意義な情報は、都民を初め、広く世の中に共有することで、さらなる
議論の展開にもつながることから、報道機関やホームページを通じて発信しております。

今後とも、本検討委員会につきましては、傍聴のあり方や迅速な情報提供など、積極的な情報発信に
ついて引き続き検討を行ってまいります。

石川委員

スコミにはメモも、カメラの取材も許可をしているわけでありませから、傍聴できないということば
ちょっと理解に苦しむわけでありませ。

私のところに委員会の案内状、これも多分、皆さんのところにも来たのではないかと思いますけれど
も、こういうものがあって、そして出席をしようとしたわけございます。会議をオープンにすべきこと
をまずは求めておきたいと思ひませ。

本題に入らせていただきます。

東京の都市づくりについて、知事は今まで何度となく後藤新平東京市長を例に出して、東京の都市計
画の必要性を訴えてまいりました。そして、今回の施政方針の中でも、かつて後藤新平は、関東大震災
後の東京を、震災後でありながら、そこに理想や夢や希望を込めていきましたと高らかにうたい上げて
おります。昭和通りや靖国通りの話は有名ですが、土地区画整理事業、橋梁の整備、インフラの地下埋
設など多くの事業を手がけたわけでありませ。

またもう一人、震災復興で大きなリーダーシップを発揮した人物に渋沢栄一がいるわけでありませ。
渋沢は経済界の重鎮として、長期的かつ国際的な視野から、民の力を結集し、復興計画を練りました。
そして、徳川時代からの江戸城を中心とする軍都から、経済を中心とした経済都市を目指しました。道
路補修、養育院設置、東京湾、築港、京浜運河の採用を提案したわけでありませ。

計画実現のため、後藤新平は、既得権益勢力としての地主に対して、断固たる態度をとるといふもの
でありました。大風呂敷ともいわれながら、合理的精神によるビジョンを示した後藤、そして、民の力
を使いながら商業都市を夢見た二人のリーダーによって、全てが成就をしたわけではありませませんが、
世界に誇る首都東京に成長する基盤を築くことができたといえるわけでありませ。

もう一つ、東京のまちづくり構想に欠かせないものに、グリーンベルト構想がござひませ。一九三九
年、昭和十四年に策定された、大都市の過大膨張に対応するために、東京市の外周に九十六万二千ヘク
タールの環状緑地帯を設置するとしてた東京緑地計画であります。欧米の緑地計画を源流とし、一九二四
年のアムステルダム国際都市計画会議に強く影響を受けたものといわれております。

ほとんどは実現しなかつたわけでありませけれども、今日の山の手にある大公園や河川敷の公園は、
この計画によって整備をされたものでありませ。

大きな構想をそのまま実現することは困難なわけでありませけれども、後の世にレガシーとして残っ
ていくことは間違いありません。始まったばかりの東京のグランドデザインを策定するために、多くの
専門家の知見に触れることも、都民の声を直接聞くことも意義のあることだと思ひませ。

同時に、指導的な立場にある人がしっかりとした構想を持ち、大所高所からリーダーシップを発揮す
ることも同じように重要といえるでしょう。

舛添知事は、海外の都市に生活をしたこともあり、また、経済文化面にも詳しく、政治学の専門家でも
あり、また、政治家としてもさまざまな経験をもっているわけでありませ。二〇四〇年代の東京の都
市づくりをどうしたいのか、知事の見解をお伺ひいたします。

舛添知事

石川委員のご質問、ありがとうござひませ。

今から二十五年より先の未来をしっかりと描いておくことが、今の政策をきちんとやれることにつな
がる、そういう観点から、ハード、ソフト両方のいるんな知恵を働かさないとイケないというふうと思っ
ております。

とりわけ、高齢化率が三割を超える、そして少子高齢化と、これが最も早く進むまちが東京でありま
すので、それを前提に置いた上で、例えば自動運転なんていう話がありますけど、これは極めて切実な
ニーズが出てくると思ひませ。水素社会への転換ということもそうでありませし、それから、企業活動
のあり方にしても、ハードの面からソフトの面から、やっぱり考え直さないとイケないし、我々が恐ら
く二十年後、思ってもいふような技術革新が生まれてくる可能性もあると思ひませ。

しかし、最終的には、東京に生まれて、東京で育て、東京で老後を過ごして、それでよかつたなと、
こういうまちにする必要があると思ひませるので、そのためにさまざまな分野の方々のお知恵を頂戴
しているわけでありませして、引き続き内外の知見も取り入れながら、都議会でこのよう議論も通じま
して、よりよいグランドデザインをつくってまいりたいと思ひませ。

石川委員

私も都市計画審議会委員を務めておりますけれども、個々の事業は、道路計画やビルの高さ、デザイ
ン、カラーも、また、まち並みも、しゃれたまち並みが冠につく街区もありませして、それなりの整合性が
図られているわけでありませ。

しかし、東京都全体の中や、隣接するまち並みとの整合性まで図れているとはいへませ。

一昨年、私どもの会派でシンガポールに視察に行つてまいりました。ご存じのように、シンガポールの
人口は二〇一三年ベースで五百四十七万人、面積七百十六平方キロと、ほぼ東京二十三区と同じ広さ
の多民族国家なわけでありませ。

一九六五年にマレーシアから独立をしましたが、わずか四十年ほどの間に、ジャングルに囲まれた小
さな港町から世界有数の商業センターと貿易港を持つ近代的なビジネス国家に成長し、しかも緑を大切
にするガーデンシティーへと発展を遂げました。

失われた二十年などともいわれておりますけれども、我が国がデフレ経済に見舞われ、停滞をしてい
る間も成長を続け、今ではアジアで最も豊かな国に成長したわけでありませ。政治の安定もあり、しっ
かりした都市計画に基づくまちづくりは、東京のグランドデザインを考える上でも大いに参考になるわ
けでありませ。

私たちは、URA、都市再開発局のシティーギャラリーをイの一番に視察をしたわけござひませ。
都市計画についての歴史やまちができていくプロセスがわかりやすく展示をされておりました。
また、五百四十七万人が住んでいるまちが、模型、いわゆるジオラマとなって、一目瞭然シンガポール
全体を見渡すことができるわけでありませ。しかも、今のまちの姿だけでなく、将来のビルやインフラ
まで構想としてつくられているわけでありませ。

四十年から五十年先を見越した長期的、包括的な構想としてのコンセプトプランが、これを具体化する
ためのマスタープランで細部まで計画をされ、十年から十五年先の開発の指針となっているわけであ
ります。

これは、東京に当てはめませと、グランドデザインと長期ビジョンとの関係になるかと思ひませ。東京
のまちづくりに欠けているのは、この長期プランの中で総合性と統一性というふうにいえるのでは
ないかと思ひませ。

都市計画のグランドデザインを進めるに当たつて、東京のまちづくりの現状と将来のビジョンなど
を、シティーギャラリーのような取り組みの中で示していくことが重要であると思ひませますが、知事の見
解をお伺ひいたします。

舛添知事

石川委員ご指摘のように、諸外国の都市に行きませと、ジオラマでそのまちの姿を描いたものが
あって、これはもう本当にたくさんの方々海外から見に来られる、ぜひ我々もこういうものをつくり
たい。というのは、鳥の目で見ればと見るというのは、非常に都市計画全体もよく見えるようにな
るので、昨年十一月に石井国土交通大臣と会談した際にこの話が出まして、国土交通省と東京都が連
携して、そこに民間企業も入れて、ジオラマ、シティー・フューチャー・ギャラリー、仮の名前です
けれども、これをつくろうじゃないかということで一致をいたしました。

先月、一回目の会議を開催しまして、海外の大きな都市がどういうふうにかこれをやっているのか、
観光にどういうふうにか生かしているのか、都市づくりにどう生かしているのか、こういうことを紹介し
ながら検討をやつたわけでありませけれども、今後、こういう会議を続けながら、すばらしいシ
ティー・フューチャー・ギャラリーをつくりたいと思ひませ。

中井教育長 高等学校では、学習指導要領に基づき、公民科、保健体育科、家庭科において、婚姻、家庭生活に関する学習を取り扱っております。

公民科においては、基本的な人権の学習で、憲法に触れながら、婚姻、家庭生活における個人の尊厳と両性の本質的平等について扱っております。

また、保健体育科においては、心身の発達や健康状況などの観点から、結婚生活について指導しています。

さらに、家庭科においても、男女が相互に協力して、家族の一員としての役割を果たしながら家庭を築くことについて考えさせる授業を行っております。

石川委員 アメリカなどでは、中学から異性間のデート行動を促すような学校主催のパーティーが行われることは特殊なことではありません。十代の前半から異性との付き合いに關しての教育を行っているわけでありませぬ。

日本では、このような若者のデート行動を促す学校行事もありませんし、日本における結婚活動は、家庭や教育現場での予備教育や訓練なしで進行しているわけでありませぬ。ですから、各県が実施しております結婚活動のための基本講座は、男女の交際の基本マナーが中心といえるわけでありませぬ。

ぜひ今後、教育の場で結婚活動の準備活動としての異性との交際を促す、座学だけではない教育プログラムを検討していただきたいと思ひます。

最後に、少子化対策は、都の担当もさまざまなセクションに分かれているわけでありませぬ。ぜひ都庁内に少子化担当セクションを立ち上げ、ワンストップに近いサービスが可能な組織を考えていただきたいというふうにおもひますけれども、見解をお伺ひいたします。

川澄政策企画局長 少子化対策につきましては、これまでも安心して子供を産み育てることができる環境の整備に向け、子育て支援施策など各局で必要な取り組みを実施しているところでござひませぬ。

今後も、関係各局の緊密な連携のもと、一体的に施策を展開してまいります。

石川委員 都は、内閣府のいうところの切れ目のない支援の最初の結婚支援事業を早期に、しかも大胆に具体化をして、少子化問題という長期にわたる大きな問題を担当するセクションも立ち上げていただくことを要望しておきたいと思ひます。

次に、都施行の坂浜平尾土地区画整理事業のその後についてお伺ひいたします。

多摩ニュータウン開発事業、約三千ヘクタールの一〇%の面積に当たる約二百九十ヘクタールが、稲城市のニュータウン面積に当たります。稲城市域の人口計画は二万七千人であり、五万人ほどの既存の人口規模に対する比率としては大きなものといえるわけでありませぬ。多摩市の諏訪、永山地区が昭和四十六年三月に入居が始まりましたが、稲城市域は昭和六十三年三月に初入居ということで、多摩ニュータウンの東の都心に最も近い玄関口に当たりますが、十七年もおくれてのまち開きとなったわけでありませぬ。それは、稲城のニュータウンエリアは、流域の一級河川、三沢川の雨水を処理するための分水路をトンネルでつくり、直接多摩川に放流する事業の完成を待たざるを得なかつたことに最大の原因があるわけでありませぬ。

多摩ニュータウン開発は、当初は、新住宅市街地開発法に基づき、強制的に用地買収を進めてきたわけですから、農業などで生活を営んできた人たちがどのように生活の糧を得るのかという問題が生じたわけでありませぬ。土地区画整理事業も残された土地活用を図るといふ、まさに生活再建の一環としても進められており、また、白抜き地区に対する都や公団の責任として実施をされてきたわけでありませぬ。

多摩ニュータウンにたくさんあった白抜き地区、つまり、従来から集落が形成されていた地区のうち、これまで東京都が進めてきたまちづくりについてお伺ひいたします。

安井東京都技監 多摩ニュータウン開発におきまして、従来から集落が形成されていた地区では、地元自治体と合意の上、都施行の土地区画整理事業等により宅地造成や道路、河川等の公共施設整備を行い、新住宅市街地開発事業の施行地区と調和のとれた一体的なまちづくりを進めてまいりました。

石川委員 稲城市のニュータウンに接続する比較的狭い白抜き地区は、個別整備地区として、道路や下水道等の整備が他の地域に先行して終了してござひませぬ。

一方、坂浜西地区は面積も広いために、土地区画整理事業として進めることとしたわけでありませぬ。そして、平成九年八月一日に、都施行の坂浜平尾土地区画整理事業が事業決定をされたわけでありませぬ。

このフリップボードをごらんいただきたいと思ひます。面積は二百十一・九ヘクタール、計画人口一万四千人、総事業費一千百億円、減歩率四五から四七%という大事業がスタートしたわけでありませぬ。

京王線に新駅をつくるという都市計画決定もされており、京王線の稲城駅と若葉台駅は三・四キロあり、京王線の中では一番長いということで駅の構想もあったわけでありませぬ。そして、この水色のところ、これは日本大学の、川松委員さんなどがラグビーを教えているグラウンドですけれども、こういうものもあります。文教的なものもあり、バランスのとれたまちづくりを進めていくということになっていたわけでありませぬ。

いわば多摩ニュータウン、二百九十ヘクタールと比較をしても、引けをとらない二百十二ヘクタールという大規模なもので、東京都は公的住宅を建設する用地を求めており、この土地区画整理事業を想定している坂浜平尾地域で用地の先買ひを行い、十四・六ヘクタールほどを東京都も用地を取得したわけでありませぬ。しかも、土地区画整理事業決定までの間、都道や一級河川の整備も下水道などの整備も二重投資を避けるために、先送りに先送りを重ねての決定となったわけでありませぬ。

ところが、平成十一年に策定された東京都の財政再建推進プランによって、東京都は新しい公的住宅建設は一切行わないという政策転換と、経済の低迷により事業採算がとれないという理由で、坂浜平尾土地区画整理事業の実施は困難との方向が示されました。結果として、稲城市のまちづくり計画そのものが振り出しに戻ってしまったわけでありませぬ。

稲城市はまちづくりのための手法として土地区画整理事業を推進しており、市も地権者も、中止の決定には、そのショックは並大抵のものではなかつたわけでありませぬ。しかも、平成九年の都市計画変更で、ニュータウン白抜き地区も市街化調整区域も消えてしまったわけでありませぬ。

都施行の坂浜平尾土地区画整理事業は頓挫をしたわけですが、おくれている都市基盤整備事業を推進する義務を、旧白抜き地区はもちろんのこと、エリア全体に対して都は負っていると強く指摘しなければなりません。

さて、坂浜平尾土地区画整理事業は、その後、地区計画により、平成十九年十月に坂浜西地区地区計画の決定がなされました。面整備区域として、上平尾地区、面積二十五・一ヘクタール、事業費八十八億五千万円の事業が平成二十二年七月に、小田良地区は面積二十九・三ヘクタール、事業費百一億円が平成二十四年十二月に、組合施行の土地区画整理事業としてスタートをしたわけでありませぬ。都施行の坂浜平尾土地区画整理事業で実現すべきことを、組合施行の土地区画整理事業として推進をしているわけでありませぬ。

都施行の区画整理を中止をするかわりの事業として、平成十六年に稲城市長と東京都建設局長との間で結ばれた坂浜平尾土地区画整理事業見直しに関する覚書は、先行買収した都有地については道路及び河川事業の代替地とするほか、公園計画地への集約及び組合土地区画整理事業の今後のまちづくりへの活用を図るとなっております。

またさらに、坂浜平尾土地区画整理事業見直しに関する覚書についての確認書を東京都と稲城市の、これは部長間で結んでいるわけでありませぬ。

先行買収用地について、約束に基づいて、今後まちづくりをどのように、この用地を活用していくのかお伺ひをいたします。

安井東京都技監 先行買収した都有地につきましては、道路及び河川事業を進める中で、必要に応じて事業用地や地権者の代替地として活用してござひませぬ。

また、現在進められている組合施行の土地区画整理事業におきましては、都は地権者として事業に協力してござひませぬ。

坂浜平尾のまちづくりを進める上で都有地の活用は有効であり、引き続き地元の意見を聞きつつ、関係局と調整してまいります。

石川委員 坂浜平尾土地区画整理事業は、現状六〇%ある緑被率を開発後も四〇%以上に維持する計画となっております。その大きな計画を担うのが総合公園としての小田良谷戸公園十五ヘクタールと、清水谷戸緑地十四・七ヘクタールであります。この緑地は手つかずの緑として残されており、オオタカの生息も確認をされており、公有地化が待たれるわけでありませぬ。

この清水谷戸緑地は、届け出のない造成工事が行われたり、ミニ開発が進みつつあるエリアとなっております。貴重な都内の緑を保全することが大変重要なことであり、事業化を図り、緑の保全を進めるべきと考えるわけでありませぬ。

都市計画決定された、この清水谷戸緑地と小田良谷戸公園の現状についてお伺ひいたします。

安井東京都技監 小田良谷戸公園、清水谷戸緑地は、区域面積が約三十ヘクタールでござひまして、現在はおおむね樹林地となっております。

このうち、小田良谷戸公園の約六ヘクタールにつきましては、稲城市が特別緑地保全地区に指定してござひませぬ。

なお、この公園緑地は、都が区市町とともに策定いたしました都市計画公園・緑地の整備方針におきまして、効果的な緑のネットワークを形成する観点から、事業の重点化を図るべき公園、緑地ではござひませぬ。

しかしながら、近隣に既に避難場所が指定されていることから、防災上の優先度の観点からは、現在の整備方針が目標としている平成三十二年までに優先的に整備を図る区域としては定められてござひませぬ。

石川委員 この公園緑地を都が早期に優先事業地区に指定することを要望しておきたいと思ひます。

当初、土地区画整理事業を進める大きな要因として、ミニ開発によるまちのスプロール化を避けることにあったわけでありませぬ。しかし、都施行を前提として土地区画整理事業が頓挫したことによって市街化調整区域の縛りも解かれ、ミニ開発を引き起こす原因となったことも明らかとなっております。違法な開発はしっかりと監視をしていただきたいと思ひますし、先ほどの覚書の中でも、都の先行取得用地を公園計画地に集約することになっております。この約束をしっかりと実行することを強く求めておきたいと思ひます。

小田良谷戸公園は、都立公園であるにもかかわらず、稲城市が六・二ヘクタールは特別緑地保全地区に指定をして、市が確保する努力をしております。都も残された貴重な緑の確保に全力投球をしていただきたいと思ひます。

次に、個別の事業についてお伺ひをいたします。

鶴川街道は、現在、面整備ではなく、都の道路整備により拡幅が進められることになっております。

そこで、現在の進捗状況と今後の整備予定についてお伺ひいたします。

佐野建設局長 鶴川街道は、町田市から稲城市を経て調布市に至る幹線道路でござひませぬ。現在、神奈川県境から駒沢学園入口交差点までの約一・八キロメートルの区間で道路拡幅事業を実施中でござひませぬ。

これまでに、若葉総合高校入口交差点におきまして、右折レーン設置工事などを実施いたしました。

平成二十八年度は、引き続き用地取得を進めるとともに、電線共同溝や歩道の設置工事を実施するなど、整備に取り組んでまいります。

石川委員 坂浜平尾土地区画整理事業の中止によって、その後の対応には都に大きな責任があることは論をまたないわけでありませぬ。知事が就任をする前のことになるわけでありませぬけれども、負のレガシーも現に存在をしているわけでありませぬ。二百十二ヘクタールという、しかも一千百億円の事業が中止になった影響は極めて大きいわけでありませぬ。

特に、東京都にとって重要な緑の問題もあります。多摩ニュータウンに關する積み残しのまちづくりをどうするのかという問題でもあるわけでありませぬ。約束された事業を早期に進めていただくことを求めまして、質問を終わります。

ありがとうございました。